

平成27年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 国際医療勉強会 ILOHA「戦争と平和」

団体名 国際医療勉強会 ILOHA 担当者名 網師本健佑

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

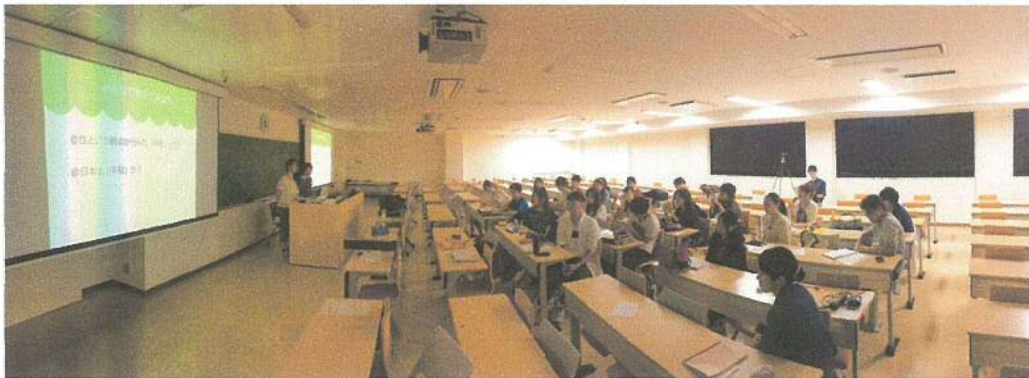
1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

国際医療勉強会 ILOHA では今年度、「戦争と平和」をテーマに4月から1年間活動しています。毎週木曜夜に勉強会を開催しており、これまでに昨年4～8月には「安全保障関連法案」、「戦争と医の倫理」、「性と平和」、「戦争の心理」、「ISIS」、「ペリリュー島の戦い」、昨年9月～今年2月には「北朝鮮」「ロシア」「国際医療 NGO」などをテーマに実施してきました。総じて前期は総論的、過去の内容を扱い、後期は各論的、現在から将来に関する内容を扱うかたちになりました。さらに、8月19日～23日には夏プロジェクトとしてパラオ共和国のペリリュー島、ゴミ処理センター、国立病院、小学校、日本大使館を訪問し、現在と過去から平和について学習しました。その集大成として9月23日には50人規模の報告会を開催しました。また、10月24日には元陸軍戦闘機パイロットで当時の体験の岡本巖さんによる講演会を開催し、16名が参加しました。

開催した勉強会テーマは以下の通りです。（参加者各回20名程度）

前期…「憲法」「戦争と医者」「戦争の心理」「性と平和」「ISIS」「平和を言葉にする」「パラオ」

後期…「安保法案」「難民」「人工知能」「PKO」「ロシア」「北朝鮮」「サイバーテロ」「国際医療 NGO」



毎週木曜の勉強会の様子



夏プロジェクト (2015/08/19~23)
パラオペリリュエ島に残る日本軍式戦車



夏プロジェクト報告会の様子 (2015/09/23)



元陸軍戦闘機パイロット岡本巖さん講演会（2015/10/24）

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

今年度は、以下の2点でESDの視点を取り入れました。1つ目は、世界の大きな課題を自らの生活に結びつけて考えるという点です。勉強会では、戦争と、医者、性、詩など身近なテーマを結びつけることで、戦争という漠然とした大きなテーマを生活の課題として落とし込めるように努めました。また、これまでのプロジェクト報告会では、報告と質疑応答が主でしたが、今年度はその形式を見直し、来場者の方々とトークセッションを行うことで、来場者にも戦争について身近な気持ちで考える機会を設けました。

2つ目に、岡山にある資源を有効に活用するという視点です。岡山シティミュージアム内にある岡山空襲展示室での研修や、岡山県在住の元戦闘機パイロットの講演などを行ったが、資源を活用するだけでなく、更にその存在を成果報告などを通して若い人々に知らせたことが、双方にとって重要であると感じました。

3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）

今年度のテーマにより1年間勉強し続けてきたことにより、昨年度にくらべ部員たちの国際情勢に対する知識、平和という概念の根本的な考えが格段に深まりました。部内の変化としては、当初「平和」という言葉を、非現実的なものであるとか、単なる「戦争」の対義語（いわゆる消極的平和）と認識していましたが、人権、幸福などによって実現する私たちの日々の生活の中で感じる身近な概念（いわゆる積極的平和）として意識し始めるようになりました。また、戦争や政治的対立には様々な認識が隠れており、複数の視点からの見方が多くの人に求められていることを学びました。例えば太平洋戦争であれば日米両国、慰安婦問題であれば日中韓、ISISであればイスラム教過激派などの各主張を取り入れるようにし、各視点から見たときそれぞれの「正義」があるということを理解するようになりました。特にパラオでの夏プロジェクトでは、これまで知らなかった教科書に載

っていない日本、アメリカの太平洋戦争の歴史、その当時の双方の認識について深く学習することができ、第二次世界大戦の歴史の認識の仕方が変化しました。

地域の変容としては、先日行われた夏プロジェクト報告会において、参加者同士でトークセッションを行ったことで、学生と地域住民の方々が顔を向き合わせ、学びを深めました。報告後のアンケートでは、「歴史を知ることの重要性を再認識し、戦争と平和には様々な見方があることを学んだ」という感想を頂きました。

4. 今後の課題と展望

今年度（3月）でILOHAとして「戦争と平和」というテーマの活動は終了になり、来年度は別のテーマで活動していきます。来年4月には今年度のふりかえりとして一般に向けての年次報告会を行い、年次報告書の配布も行います。今年度学習した国際情勢の基礎知識、相互理解のあり方と難しさの理解をあわせて、来年度の活動につなげていく予定です。

今年度は部内だけでなく市民にも開かれた企画も取り入れていこうと活動してきましたが、プロジェクト報告会の集客、その他の開かれたイベントが開催できなかったことなどが課題として残りました。来年度はより岡山市民の皆様にILOHAの存在を認識していただけるような活動を展開していきたいと思えます。